



長崎醫西學校關係書類

46
/



114
A 4174
2



敬啟者
茲因
本館
藏有
宋
版
書
一
部
現
已
裝
訂
完
畢
特
此
佈
告



精海館藏醫學

校名改作海學

十月

414
4174
2

大正
十一年
四月
贈

一懸中接除念了命安

事

志

印

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

一醫業之成也天下

之度一也其入也

訖せざる者な陸西

任り又市に大なる也

其道裏類法類

至る東東山年定

其道裏類法類

至々々東東山平定

至々々法入貴法

至々々括

物廷法

思食今友格

自法盛法

是法一流榮

と案法一厚

類とと踏等及

他日ウウ各

類書と踏等召書

他日ウの各園日記

精業より所勉勵

後者也

一精得能之末病院

創之

心末醫院

文と秀也更起

丁

一凡口親も中

駕御すの法を長官

...

一 凡言親身を中へ込め

駕御するの法を長官

しや己の実見を以て

之法を信持する時を

終に館中一丸解きし

之を以て格外厳き

し可きとの及ぶ事

一 長官の如く凡そ病入

可扱熟切に之を致す

一 熟中一熟和せし事

一 長官の命を以て守る事

一 熟中一熟和せし事

一 塾中 塾和才一 事

一 長官 命之 心 事

一 塾中 法 集 命 之

一 法 取 奉 致 事

一 事 上 官 之 者 片

一 向 以 御 名 禮 致 向 安

事

一 筆 械 事 以 亦 能 粗 暴

一 事 級 致 向 事 事

但 若 之 終 矣 者 之 代 令

一 事 上 他 之 致 事

一 事 官 之 命 之 心 事

ふ上他三枝事

一長官の由り勿論徳生

中落事一方茂視致

向ふ交信事一方は徳生

向ふ交信事一方は徳生

為禮とら親睦事

事

一熱中掃除多る用意

事

后之條々相習ふ

於て之を法及一の及

向し其禮は等しく双方

為禮と云ふ親睦也

事

一懸中掃除と云ふ所也

事

后之條に相習ふ

於て之を法と云ふ及

沙汰也

辰十月

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

目録

朝八字より十字迄

社海 七字半出迄

毛収 七字半出迄

師名傳 上八字前

甚多の事 三頁

之收...の...南出送

師...上八...前

其多...一...周

其...者其...以書

其...一...一...一...

缺...月...及...

之...了...禁...事

十字...

珍...

又...我...三...

其...於...海...蓋...枚...換

已聞子成之志三言

夫於溝壑投快

子成但之投快

每日子成出勅事

任勇前從

於案後之三言

投保

三言

後漢

溝壑出聲

傳漢

漢書出帝名總合云

光孝と推し致後同

研究之年

任可前院之通

六字より七字迄

投保

七字より

鎖門

鎖門後者各解と監

系下より出第一門迄

後よりより林是之一月

奉一...
...

後...
...

禁...
...

了...
...

但...
...

唯...
...

外

八...
...

結...
...

者...
...

勿...
...

右老... 勿... 勿... 勿...

勿... 勿... 勿... 勿...

但... 每... 字... 學... 業... 見

迴... 年

每... 月... 勤... 情... 在... 正...

一... 載... 判... 此... 昔... 昔...

下... 年

右... 除... 陰... 了... 有... 有...

年

辰... 十... 月

大正十一年四月
侯爵郵寄贈

学科序目

算学

第十卷

几何

第九卷

代数

第八卷

解剖

第七卷

几何

第六卷

算学

第十卷

解剖学

第六等

病理学

第六等

解剖学 英译 第四等

内科学 英译 第三等

解剖学 英译 第二等

解剖学 英译 第一等

解剖学 英译

解剖学 英译

解剖学 英译

解剖学 英译

一、其級以下

二、學科 其級以下

三、每章 一、二級 其書

四、其書 及二科

五、其書 其級以下

六、其級 其級以下

七、其書 其級以下

十月

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

借奉可

一 療者上願公志之於作

身廣之儀之性之施篇

和英訂此以周之

書紀之為卷之能入

同和自之

書紀 為卷之終

月命書

一 漢書 卷之終

漢書 卷之終

漢書 卷之終

書紀 卷之終

漢書 卷之終

一 漢書 卷之終

漢書 卷之終

一 漢書 卷之終

漢書 卷之終

一德美尔得格力因以上

之官入世成者新纪

其入之官马行程量周

成制行成或行文之微

制刻之並統美之亦

每月共八廿九日勉三六

美以多取集之且多以排

亦行程成亦行程之度也

之之字以美美与与成

皆系亦之德以上之裁判

三、學以無事為戒

學業中必涉以上之戒則

取法必不一也

一、學以無事為戒

學以無事為戒

學以無事為戒

學以無事為戒

但學以無事為戒

一、學以無事為戒

學以無事為戒

一、西... 字... 年

台... 法... 下... 北... 美

不... 善... 志... 善... 局... 概

監... 系... 文... 下... 中

一、善... 概... 書... 籍... 概... 根... 據... 如

清... 兩... 月... 未... 結... 每... 結... 實

引... 合... 法... 生... 詳... 備... 之... 以

力... 及... 一... 通... 過... 網... 了... 查... 數

一、年

一、美... 局... 概... 之... 日... 之... 查... 分

一、美... 局... 概... 之... 日... 之... 查... 分

一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

此一美局城の口々徳分

一入院印其徳分

き事

一入院印具施(多)成(之)意

切(之)扱(之)所(之)威(之)控(之)多(之)受

成(之)致(之)札(之)弟(之)一(之)右(之)名(之)印

未(之)之(之)人(之)之(之)右(之)之(之)主(之)意

中(之)其(之)方(之)肝(之)者(之)之(之)事

一院中(之)梓(之)除(之)之(之)美(之)中(之)御(之)

之(之)の(之)之(之)中(之)其(之)方(之)以(之)之(之)意(之)成(之)

之(之)和(之)院(之)中(之)之(之)属(之)役

湖(之)深(之)意(之)之(之)事(之)之(之)事

是長溪中... 廣...

波流... 音

一交子... 一...

每以... 用...

大掃... 事

一院... 役

角... 列

第... 下...

年

但... 役

角女和引文と別

角女和引文と別

角

但將一取端後又三條

角女和引文と別

角女和引文と別

角

角女和引文と別

